



2026年3月13日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 パ ワ ー エ ッ ク ス

代 表 者 名 取 締 役 代 表 執 行 役 社 長 CEO 伊 藤 正 裕

(コード番号：485A 東証グロース市場)

問 合 せ 先 執 行 役 コ ー ポ レ ー ト 領 域 管 掌 藤 田 利 之

(TEL：03-4400-7296)

## 蓄電池併設型太陽光向け電力運用サービスの全国提供開始に関するお知らせ ～ 需給調整市場・一次調整力での運用にも新たに対応～

当社は、2026年3月13日開催の執行役会において、以下のとおり、蓄電池併設型太陽光向け電力運用サービスの全国提供を開始すること、需給調整市場における一次調整力での運用に新たに対応することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 1. サービス開始の趣旨

当社は、電力事業にて提供する蓄電池併設型太陽光発電所向け電力アグリゲーションサービス（以下、本サービス）について、提供エリアを従来の九州から全国（沖縄を除く）に拡大するとともに、需給調整市場における一次調整力での運用に新たに対応しました。

再生可能エネルギーの導入拡大に伴い、発電出力を一時的に制限する「出力抑制」は九州にとどまらず全国的に増加しています。太陽光発電所への蓄電システムの併設により、余剰電力を需要の高い時間帯にタイムシフトして供給するとともに、FIT（固定価格買取制度）からFIP（フィードインプレミアム）制度へ移行することで市場価格に連動したプレミアムを獲得でき、発電事業者の収益性向上につながります。

今回新たに対応した一次調整力は、電力系統の周波数安定に不可欠な調整力です。蓄電システムの高速な充放電特性を活かすことで、電力売買の収益に加えて需給調整市場からの収益も得られるようになり、発電所全体の収益機会をさらに拡大します。

本サービスでは、パワーエックスが太陽光発電所に自社製の蓄電システムを設置し、発電と蓄電の一体運用によるアグリゲーションおよび保守管理をワンストップで提供します。発電事業者への対価は、市場価格に応じた変動型のほか、固定収益での支払いにも対応しており、収益の予見性を確保しながら既存アセットの価値向上を図ることが可能です。

当社は今後もミッションである「日本のエネルギー自給率の向上」の実現に向け、太陽光発電所への併設型蓄電システムの導入拡大を製品・サービスの両面から推進してまいります。

## 2. 新たなサービスの概要

### (1) 新たなサービスの内容

蓄電池併設型太陽光発電所向け電力アグリゲーションサービス

- 対象発電所：出力 1.5 MW 以上の高圧 / 特別高圧の太陽光発電所（低圧は対象外）
- 提供エリア：全国 9 エリア（北海道・東北・東京・中部・北陸・関西・中国・四国・九州）
- 蓄電システム：パワーエックス製 蓄電システムを発電規模に応じて 1 台から複数台設置
  - Mega Power 2700A（公称容量：2,742 kWh）
  - Mega Power 2500（公称容量：2,507 kWh）
- 収益モデル：固定収益モデル / 市場価格に一部連動するハイブリッドモデル

### (2) 当該サービスを担当する部門

電力事業部

### (3) 当該サービスの開始のために特別に支出する金額及び内容

機器点計量の機器開発コスト 50 百万円程度を見込んでおります。

## 3. 日程

(1) 執行役会決議日	2026年3月13日
(2) 事業開始期日	2026年3月13日

## 4. 今後の見通し

本サービスによる当期業績への影響は軽微であると見込んでおりますが、中長期的には当社の企業価値向上に資するものと考えております。進捗状況や投資判断に関する重要事項が生じた際は、適時開示等を通じて速やかに情報発信を行ってまいります。

以上

(参考) 当期連結業績予想 (2026年2月13日公表分) 及び前期連結実績 (単位：百万円)

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
当期連結業績予想 (2026年12月期)	38,000	2,500 ~3,000	2,000 ~2,500	1,000 ~1,500	1,000 ~1,500
前期連結実績 (2025年12月期)	19,306	△137	△677	△1,796	△1,646